### 発行日: 平成 28 年 月 日 発行者: 佐賀県地域交流部 国際課 交流担当

連絡先: (TEL)0952-25-7004 (FAX)0952-25-7084 (E-mail)kokusai@pref.saga.lg.jp

# 世界とつながるはじめの一歩

### Vol. 附属中学校×聖公会林護紀念中学校(香港)



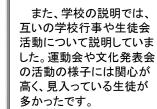
## 『附属中学校が聖公会林護紀念中学校(香港)を訪問し、学校交流を行いました!!』

佐賀大学教育学部附属中学校(古賀勝利校長)は、平成26年度から佐賀県が取り組んでいる「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加しています。本年度は、平成28年9月23日(金)に、附属中学校の生徒16名と引率者3名の計19名が交流相手校である聖公会林護紀念中学校を訪問し、交流を行いました。聖公会林護紀念中学校との交流は互いの文化を知ったり、自分の考えを表現したりするよい機会となりました。

1. まず初めに、自己紹介や学校の説明を行いました。



自己紹介では、自分の 名刺を渡し、自分の趣味や 特技を披露していました。 ジェスチャーを交えながら、 自分の想いを一生懸命に 表現していました。互いに 笑顔があふれ、和やかな 雰囲気となりました。



2. 次に、SNS上でのいじめについての討論を行いました。





最初に、SNSのメリット、デメリットについて話し合いました。その中で、SNS上においても、いじめがあることを知りました。SNSでは言葉が足りなくて誤解されたり、自分の想いが上手く伝わらなかったりすることがあるので、大切なことは直接話すべきだという意見がありました。

また、トラブルが起こった 場合は直接会って話をし、 すぐ解決することが大事だ という意見がありました。 3. 最後に、日本の文化を紹介し、親睦を深めました。





文化紹介では、習字や 浴衣について説明していま した。実際に字を書いたり 浴衣を試着したりしてもら いました。香港の人たちは 初めての体験に、たいへん 喜んでいました。他にも、 折り紙や紙風船などをした。 日本らしさを紹介することができ、生徒たちはとてう 文化交流を通して、互いに 親睦を深めることができま した。

### 【感想】

- ◎英語を完璧に話せなくても、笑顔やジェスチャーで、自分の考えを伝えようとする姿勢が大事だと思いました。(3年男子生徒)
- ◎交流を通して、海外で通じるだけの英語力をつけることの大変さを感じました。 今学校で習っている文法的な英語はもちろん大切ですが、"会話する力"は、 また別に大切であり、必要なことだと強く感じました。(3年女子生徒)
- ◎討論では、林護中でも日本と同じように SNS 上でのいじめが起きていて、似たものがあるなと感じました。(2年女子生徒)
- ◎今回、林護中の生徒との交流で学んだことを学校や佐賀県、日本にしっかりと 発信していきたいです。(2年男子生徒)

#### 【交流の成果と今後の展望】

聖公会林護紀念中学校との交流会では、日本の文化を紹介したり、ディベートを行ったりしました。その中で、外国のことを知るだけでなく、自分たちの国についてもっと知るべきだということに気づかされました。これは、海外に行ったからこそ分かることだと思います。今回生徒たちは積極的に活動に取り組み、大きく成長できました。今後もこの交流を続けていきたいです。

また、聖公会林護紀念中学校の方からも附属中学校を訪問したいというお話があり、実現することができればと思います。 現在の交流を今後さらに深めていくことは、日本と香港をつなぐ 架け橋の1つになるのではないでしょうか。

